

平成25年度 事業計画書

平成25年4月 1日から

平成26年3月31日まで

学校法人育和学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 育和学園（昭和26年7月13日法人設立）

代表者 理事長 佐竹 通靖

住 所 大阪市東住吉区西今川1丁目19番2号

電 話 06-6713-0552

FAX 06-6719-5052

設置する学校

住 所 大阪市東住吉区西今川1丁目19番2号

名 称 育和学園幼稚園

電 話 06-6713-0552

FAX 06-6719-5052

住 所 大阪市東住吉区山坂4丁目16番16号

名 称 生長幼稚園

電 話 06-6692-3204

FAX 06-6692-5527

役 員 理 事 5名 監 事 2名

評議員 11名

理事会 3回開催 評議員会 3回開催

職 員 14名（育和学園幼稚園）

14名（生長幼稚園）

2. 事業の概要

（育和学園幼稚園）

《教育方針》

集団生活を通し、自立の精神と発育発達の向上を目的とし、創造的な能力を養います

《教育内容》

幼児期における親と子のコミュニケーションを図り、保育においても教職員と親と子のコミュニケーションを大切にする

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	2	50	2	70	2	70	6	190
23年度	2	45	2	49	2	30	6	124
24年度	2	53	2	50	2	50	6	153
25年度	2	46	2	62	2	49	6	157

《保育時間》

月・火・木・金曜日 午前9時～午後2時30分

水曜日 午前9時～午後1時30分

第1、3、5土曜日 午前9時～午前11時30分

《納付金》

保育料 年額 240,000円 (12分割均等納付)
給食費 1回 270円 (欠席数に応じて返金します)

《入園時の費用》

入園料 (3・4歳児) 30,000円
施設費 (3・4歳児) 20,000円

《預り保育の時間及び費用》

月～金曜日 午後5時まで
(夏期保育中のみ預かり保育は、午後5時まで)
30分50円

《行事实施状況》

春・秋の園外保育、お泊まり保育、作品展、運動会、ハローウィン、
仲よし会、もちつき大会、誕生会、生活発表会、サッカー大会参加

《施設関係》

園地面積 1,421.4㎡ 運動場面積 742㎡

《設備関係》

(生長幼稚園)

《教育方針》

健康生活と明朗な自主独立の精神を養うとともに創造的態度を培います

《教育内容》

1. 心身ともに、健康でたくましい子ども 2. 明るく、自主性と社会性のある
子ども 3. いきいきした創造性豊かな子ども

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	2	50	2	50	2	60	6	160
23年度	2	53	2	38	2	37	6	128
24年度	2	43	2	49	2	38	6	130
25年度	2	37	2	39	2	49	6	125

《保育時間》

月・火・木・金曜日 午前9時～午後2時
水曜日 午前9時～午後1時
第1、3、5土曜日 午前9時～午前11時30分

《早朝保育》

月～土曜日 午前8時～午前9時

《納付金》

保育料 年額 216,000円 (12分割均等納付)
給食費 1食 250円 (子どもによって異なります)

《入園時の費用》

入園料	30,000円
施設費	15,000円
入園検定料	1,000円

《預り保育の時間及び費用》

月～金曜日 午後2時～午後4時30分

1回300円 水曜日のみ500円 課外待ち時間は無料

《行事实施状況》

親子遠足、保護者の集い、園外保育（子どものみ）、日曜参観、
プラネタリウム見学、七夕まつり、プールあそび、秋の集い（敬老会）、
運動会、こどもまつり、消防署見学（警察署見学）、作品展、もちつき大会、
クリスマス、移動動物園など

《施設関係》

園地面積 760.6㎡ 運動場面積 694.4㎡

《設備関係》

《計画内容》

民主党政府は、「総合こども園」の法案が廃案となった後、消費税税率改定のため8月10日に民主・自民・公明の3党合意で子ども子育て新制度の法案を成立させ、9月に都道府県、昨年内に市町村説明を終え、粛々と平成27年法案施行のため進めている。また、12月の総選挙では自民党が勝利し自公政権が成立したが、その後も、新制度は内閣府・厚労省・文科省の3府省が一体となって本年2月に2回目の都道府県説明会を実施して細かな工程表が示された。一方、自民党は幼児教育無償化の実現を推進するようであるが、子ども子育て新制度との関わり方と財源確保の目途がたっていないため、一層混迷の度合が深まっている。

そこで、当園としては、子ども子育て新制度移行のための4つの選択肢を検討し、施行1年前の26年4月には、概ね決断しなければならない。本年度末の公定価格及び施設型給付の額が明らかになるまでは、方向を決めかねるが、準備を怠らず、議論・検討を重ねていきたい。

また、大阪府が、平成23年度から「大阪スマイル・チャイルド事業」を推進し、子ども子育て新制度移行への後押しをしているので、当園も預かり保育の充実に努める。制度変更は如何ともしがたいが、保護者に選ばれる幼稚園になるために、教員組織を整え、笑顔のある心地よい環境に整備していきたい。

採用については、保育所の増設による保育士需要の増加や、幼稚園教諭になりたいという学生が大幅に減少し、採用難となっている。

そのような状況下、新年度の育和学園幼稚園の園児数は、前年度より4名増加の6学級157名のスタートとなる。新年度の生長幼稚園の園児数は、前年度より5名減少の6学級125名のスタートとなる。

また、未就園児については、親子登園を実施し、子育ての悩み等相談機能を高

め、当園への関心を高め、選ばれる幼稚園を目指して丁寧に確実に取り組むこととする。

教員組織の採用については、環境が一層厳しくなってきたので、優秀な人材を確保するためには人件費の上昇はやむを得ないが、人材を育成することが何よりも肝心で、当園としては、教員育成プランを策定し積極的に取り組むこととしたい。

消費収支計算書で予算を見ると、収入では、ほぼ前年度並みを予定し、支出では、人件費以外は前年度予算とした。

また、平成26年度の園児募集については、育和学園幼稚園は60名以上、生長幼稚園は50名以上の園児確保を目指す。

《収支予算》

別紙